

<p><b>【技術の名称】</b>                  建築構造用高性能490N/mm<sup>2</sup>級冷間プレス成形角形鋼管「Pコラム-G325TF, G325TF-Z25」(設計・施工)                  (堺製造所)</p>	<p>性能証明番号：GBRC 性能証明 第21-11号                  性能証明発効日：2021年11月26日</p> <p><b>【取得者】</b>                  株式会社セイケイ</p>
--	--

**【技術の概要】**

本技術は、国土交通大臣の認定を取得した建築構造用高性能 490N/mm<sup>2</sup>級冷間プレス成形角形鋼管「P コラム-G325TF, G325TF-Z25」(堺製造所)に適用される設計法である。

**【技術開発の趣旨】**

本技術は、角形鋼管の角部においてシャルピー吸収エネルギーを保証するとともに、溶接熱影響部の靱性に優れた材料として開発された「P コラム-G325TF, G325TF-Z25」を柱に用いた場合の建築物の耐震設計法に関するものである。「P コラム-G325TF, G325TF-Z25」は、本製品を柱に用いた構造計算において、平成19年国土交通省告示第593号第一号イ(3)、昭和55年建設省告示第1791号第2第三号、平成19年国土交通省告示第594号第4第三号口のただし書きを適用し、設計上の付加事項は適用しない。

**【性能証明の内容】**

本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。

申込者が提案する「建築構造用高性能 490N/mm<sup>2</sup>級冷間プレス成形角形鋼管「P コラム-G325TF, G325TF-Z25」(設計・施工) (堺製造所) 設計・施工指針/溶接施工指針」に従って設計・施工された「P コラム-G325TF, G325TF-Z25」は、「耐震設計における保有耐力と変形性能 鋼構造編(1990) (日本建築学会)」で定める必要塑性変形性能を有する。

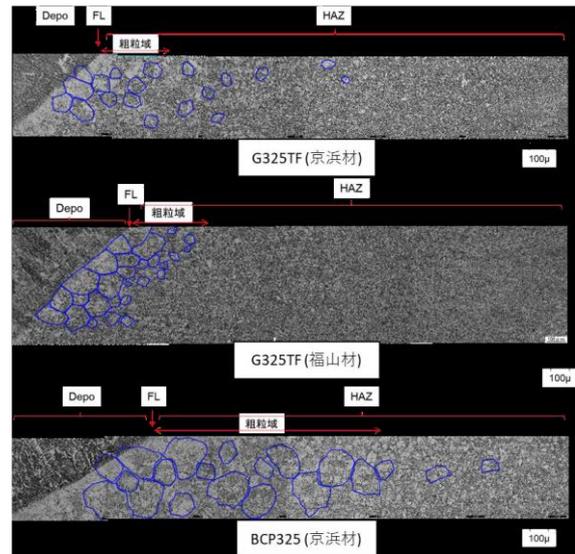


図1 CO<sub>2</sub>溶接 HAZ部の組織の比較

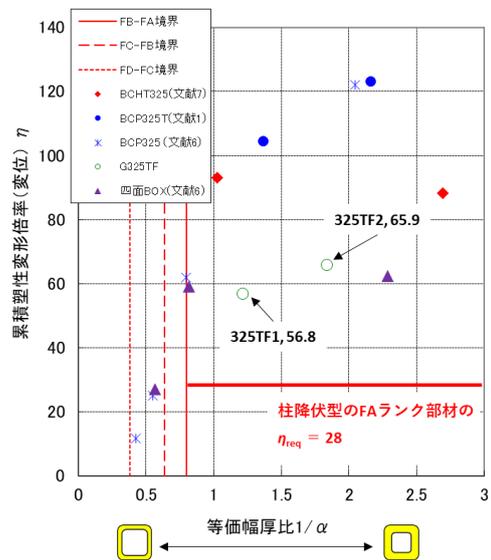


図2 等価幅厚比と累積塑性変形倍率の関係

**【本技術の問合せ先】**

株式会社セイケイ 担当者：林 皓太  
 〒592-8331 大阪府堺市西区築港新町2丁2-3

E-mail : k.hayashi@seikeicolumn.co.jp  
 TEL : 072-245-8599 FAX : 072-245-8648